

第1回コミュニケーション活動結果のまとめ

提示した「課題」「目標」「対策案」について

①沿線住民・道路利用者等

1, 実施期間

平成23年2月17日～平成23年3月25日 約1ヶ月間(37日間)

2, 内容

- | | | |
|----|-----------------------|----------|
| 問1 | 周辺地域の課題について | 選択式・自由回答 |
| 問2 | 課題を解決するための目標について | 選択式・自由回答 |
| 問3 | 他に考えられる対策案について | 自由回答 |
| 問4 | 中部横断に期待すること懸念することについて | 自由回答 |

3, 方式別の配布部数と回収件数

	アンケート方式	WEB方式
沿線住民	沿線9市町村(※)自治会加入者の住民に全戸配布 配布部数:約80,000部 回収件数: 4,225件	国道事務所および沿線9市町村のホームページに掲載 回収件数:1,071件
道路利用者	高速道SA・PA、道の駅、国道事務所、長野県、山梨県、沿線9市町村で配布 配布部数:約15,000部 回収件数: 2,003件	
合計	回収件数:7,299件	

※北杜市・小諸市・佐久市・小海町・川上村・南牧村・南相木村・北相木村・佐久穂町

4, 結果

(1) 回答者の属性

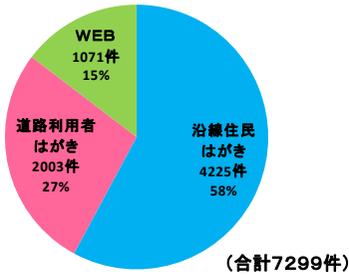


図1 手法別

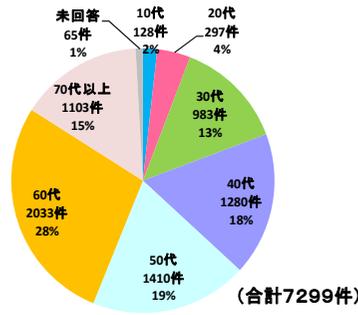


図2 年齢別

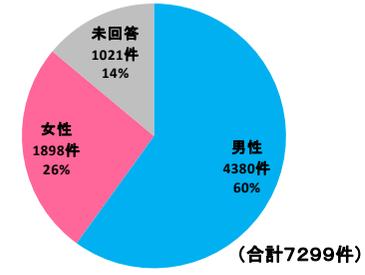


図3 性別

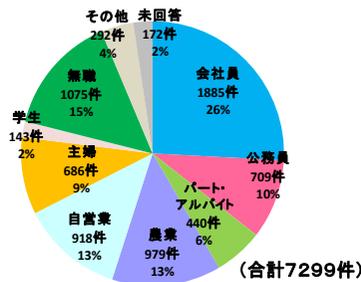


図4 職業別

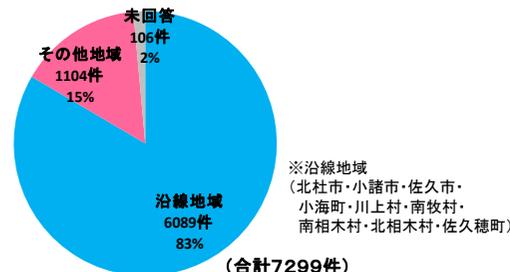


図5 地域別

市町村別回答率

沿線地域	沿線住民はがき回収率/世帯数	回答数/人口
北杜市	8%	6%
小諸市	2%	1%
佐久市	3%	1%
小海町	21%	10%
川上村	4%	2%
南牧村	14%	6%
南相木村	5%	10%
北相木村	11%	5%
佐久穂町	10%	4%

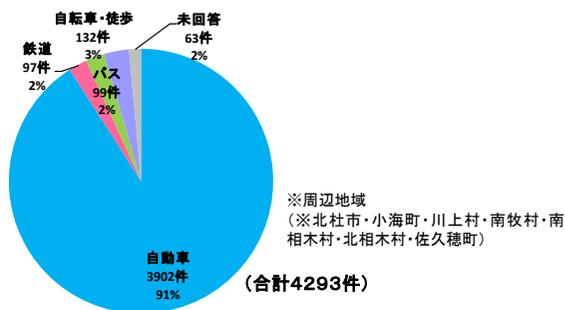


図6 周辺地域にお住まいの方の主な移動手段別

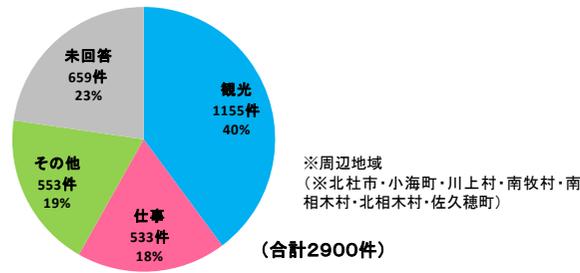


図7 周辺地域外から来られる方の主な目的別

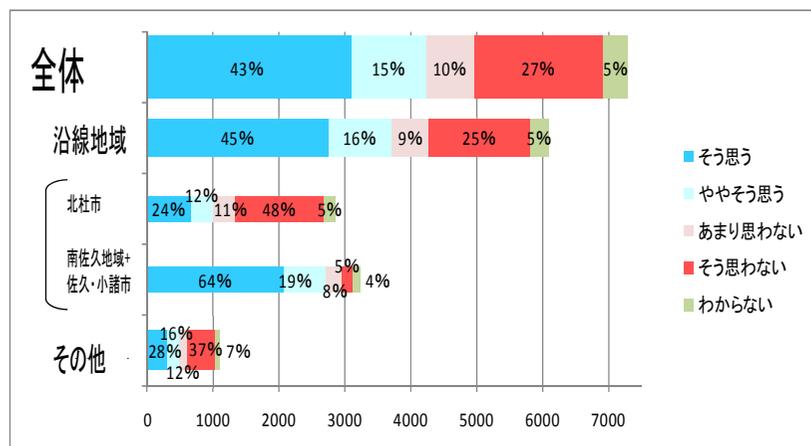
(2) 周辺地域の課題

問1-1 「提示した課題は周辺地域が抱える課題と思えましたか」 に対する回答 【全回答数 7,299件】

- 国提案の各課題に対し、全体の51～64%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答
- そのうち、沿線地域(6,089件)では、53～67%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答
(北杜市(2,853件)では、29～44%、また南佐久地域+佐久・小諸市(3,236件)でみると72～87%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答)
- 一方、その他地域(1,104件)では、40～49%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答

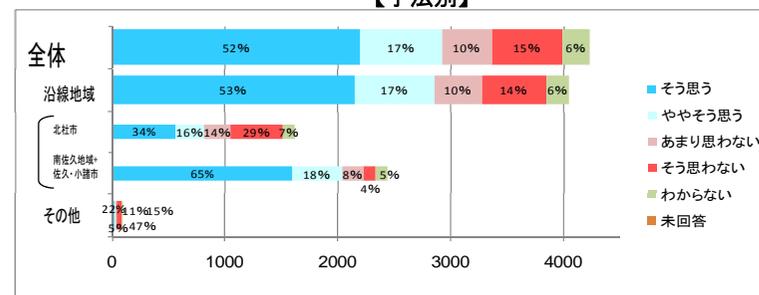
①【産業】 設問：地域の生産品の自動車輸送に時間がかかる。

【手法別全体】

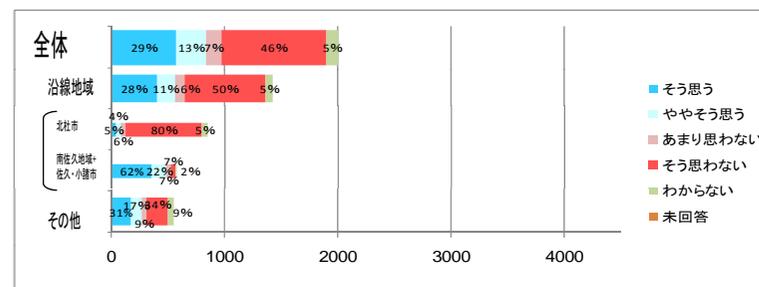


【手法別】

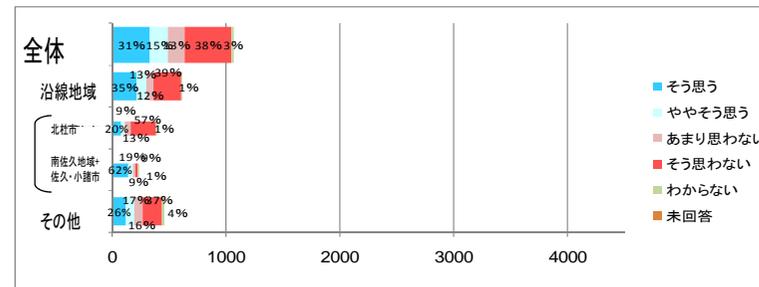
【沿線住民】



【道路利用者】



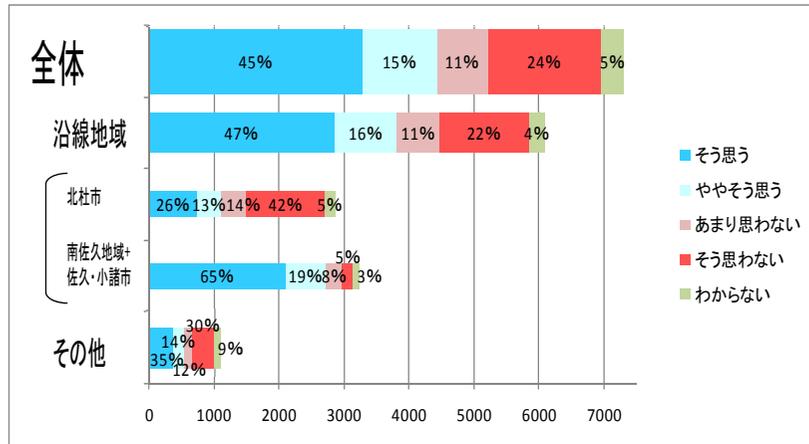
【WEB】



問1-1

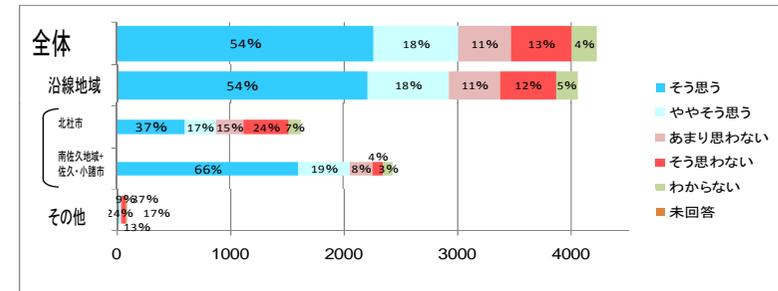
②【医療】 設問:救急医療施設への救急車搬送にかかる時間がかかる。

【手法別全体】

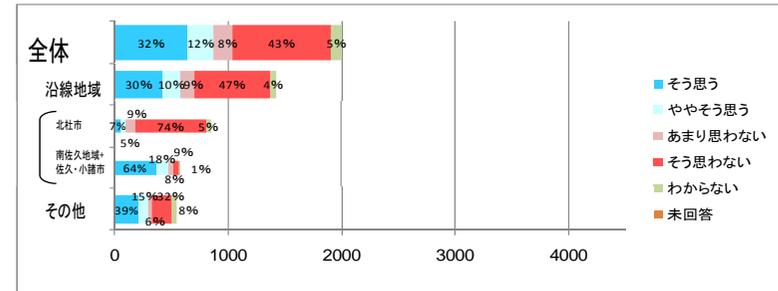


【沿線住民】

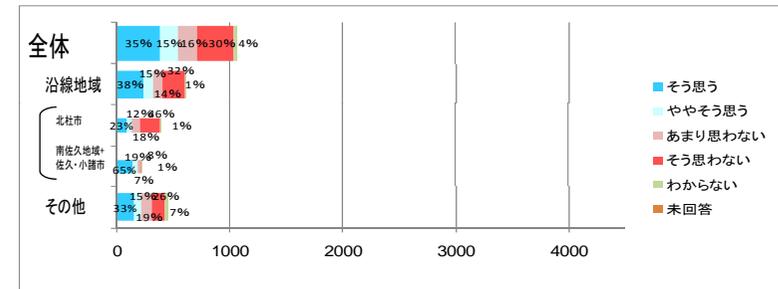
【手法別】



【道路利用者】



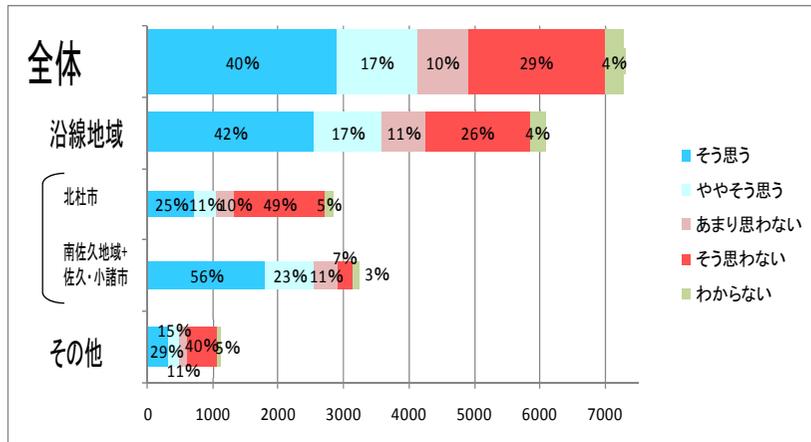
【WEB】



問1-1

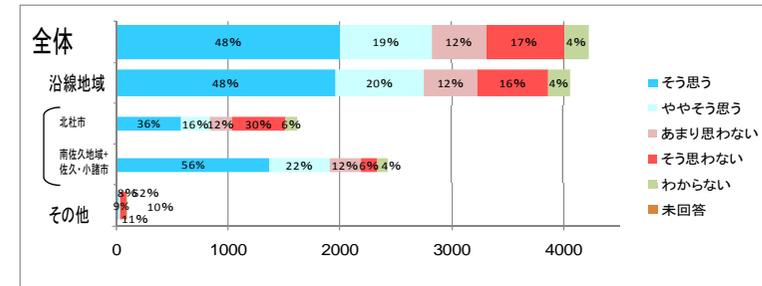
③【観光】 設問: 主要な観光地間の連携が不足している。

【手法別全体】

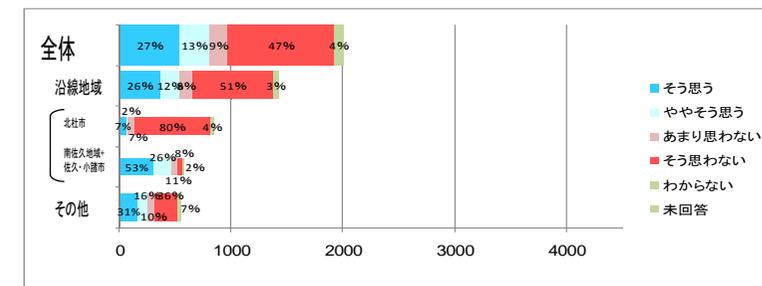


【沿線住民】

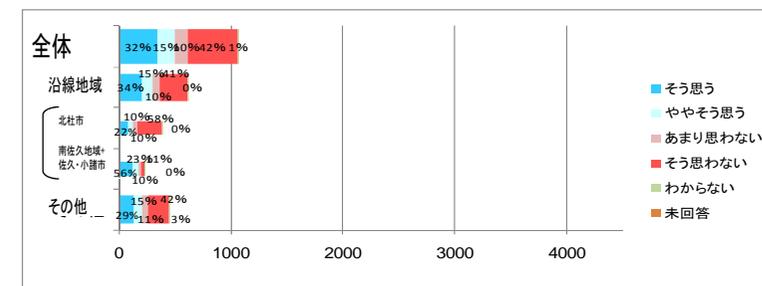
【手法別】



【道路利用者】



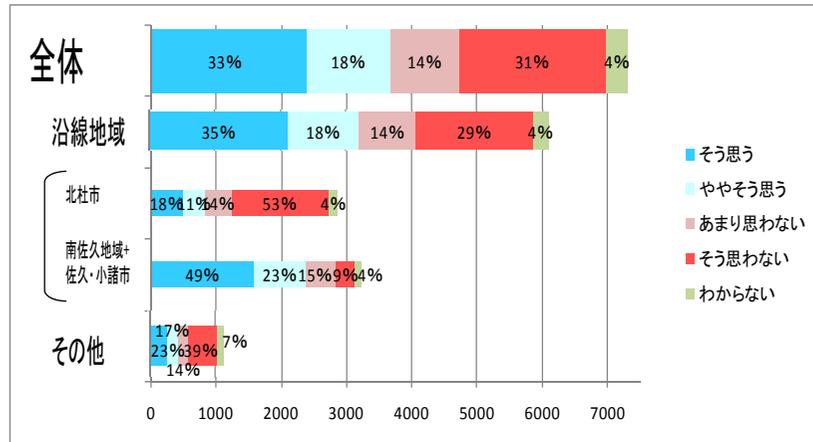
【WEB】



問1-1

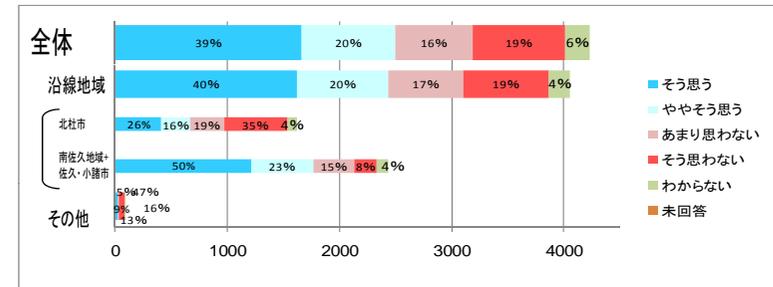
④【生活】設問:買い物、通勤などの日常生活の移動が不便。

【手法別全体】

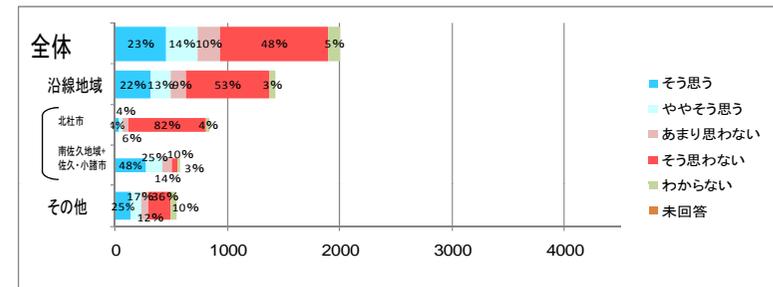


【沿線住民】

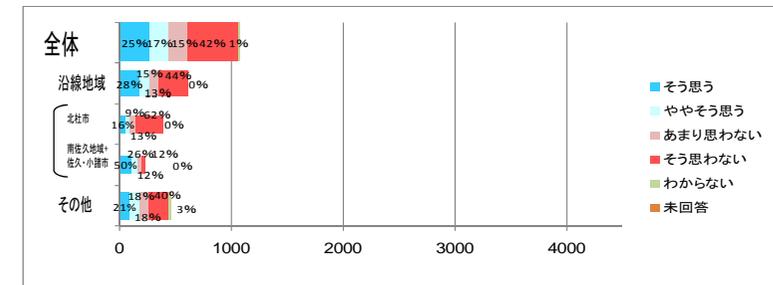
【手法別】



【道路利用者】



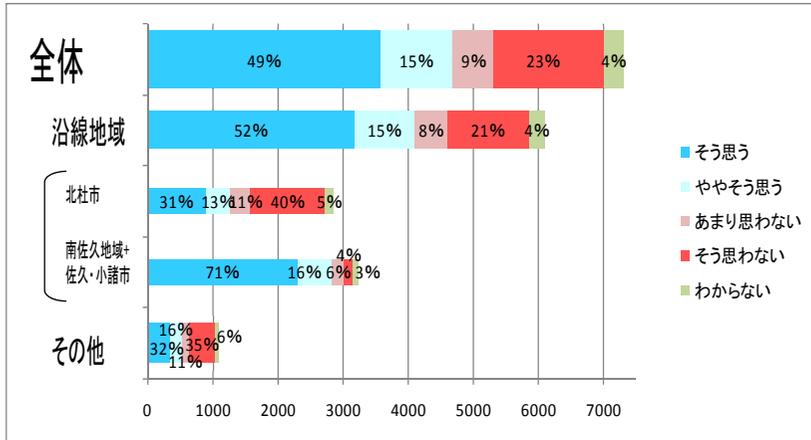
【WEB】



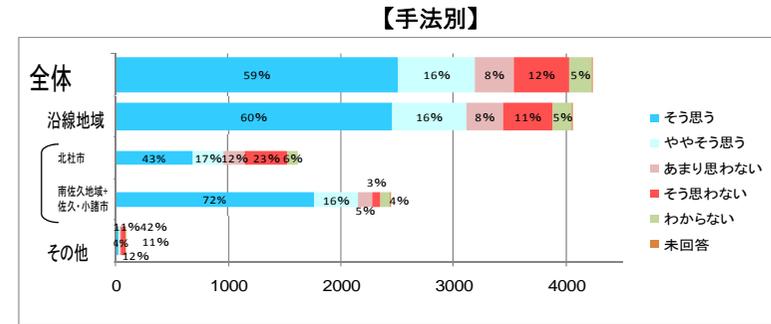
問1-1

⑤【道路】 設問:国道141号の走行性・安全性が不足している。

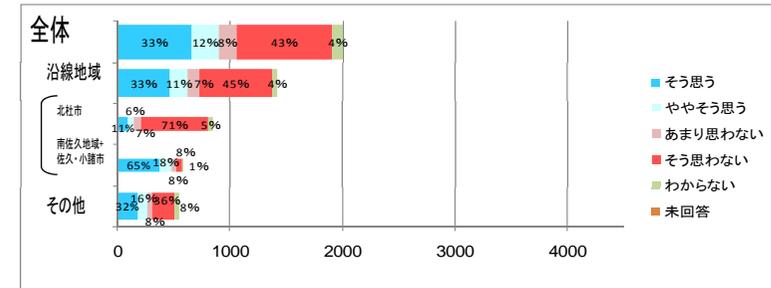
【手法別全体】



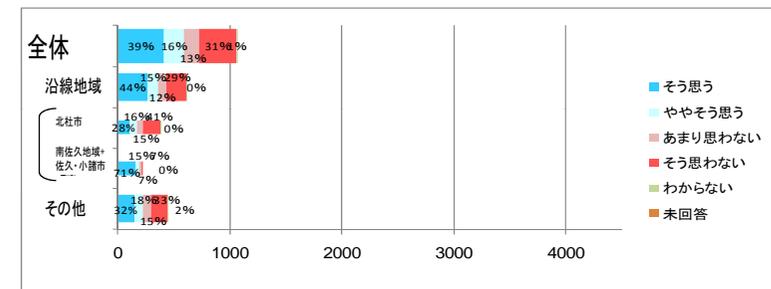
【沿線住民】



【道路利用者】



【WEB】



問1-2 「他に重要と思われる周辺地域の課題」 に対する回答(自由回答)

【回答:2, 073件】

【主な意見】

主な意見の内容		分類	主な意見の内容
高齢化、過疎化による既存産業の衰退。		道路以外の施設等の整備	医療(病院)を充実する。救急搬送等にヘリポートなどの整備は必要と考える。
隣接行政区との文化・教育等の交流の活性化。			老人ホームと保育園の充実。
公共交通機関の整備。			大きな震災が起きた今、横断道よりも被災地の復興のために予算、重機を使う事が重要だと思います。
分類	主な意見の内容	道路整備の進め方	もっと住民にわかりやすく説明する必要あり。特に高齢者の方には丁寧な説明が必要。
道路整備への期待	なるべく早く開通して、観光面に役立てたらと思います。		日常生活での利用は、費用との問題があると思う。
	地域の発展は、高速道と道路網の整備による社会資本の整備充実です。	「産業」「医療」「観光」「生活」「道路」に関する意見	国道141号が通行止めの場合、迂回路がない。
	他地域間との交流が促進され、文化向上のためになる。		道幅が狭く、長距離輸送トラックが道幅いっぱい通行するため、地元の生活道路としては危険である。
	地域間の結びつき。観光面で多大な効果が期待出来る。		安全な運行のため道路の降雪・積雪対策、凍結対策が必要
	工場誘致、雇用の創造等、経済的に効果大。		近県へのアクセスは、非常に不便。
	通勤時間の短縮。		農業振興、後継者育成、特産品開発などに力を注ぐべき。
	沿道の人々が騒音問題に悩まなくてよくなる。		十分に地域の豊かさが感じられる。
道路整備への懸念	R141を整備すれば良い。		休日等における一般道の渋滞の緩和。
	道路整備が優先されて、自然が失われる。	食品スーパーが少ないので、買い物に困る地域。	
	貴重なハケ岳の景観を保護する。	大切な産業である観光地としての価値を、高めて行かなければ発展しない。	
	観光面で通過地点にならないか。	雇用の促進。陸の孤島から魅力ある地域に。	
	交通量が増えるため、公害等の問題が必ず起きるのではないかと心配です。	救急搬送に時間が掛かる。	
	道路を造る事による地域の分裂。	滞在型観光地にむけてのインフラの整備。	
	高速道路など必要ない、要らない。	その他	不法投棄や車両の放置等の景観的な問題。
道路整備内容	現状の一般道の再整備の推進が重要。	※回答で述べられた2,073件の意見を細分化し同類の内容ごとに分類	
	自然が豊かな地域なので、自然を守りながら、道路の建設をしてほしい。		
	極力、景観を損なわずに、極力各地域民から遠い施設設定を期待します。		
	特色あるサービスエリアを設けて、地域の活性化を促す。		
	地域に密着した高速道でありたい。その為には地域毎には言わないが、細かくICを設ける事と地域の近くを通す様に工夫してもらいたい。		
	ICアクセス道の整備。IC周辺環境アセスをすべき(追加IC)。		
	生活道路が国道141号のみとなっているので、バイパス道路が早急に必要と感じる。		
街灯が少なすぎと思う。			

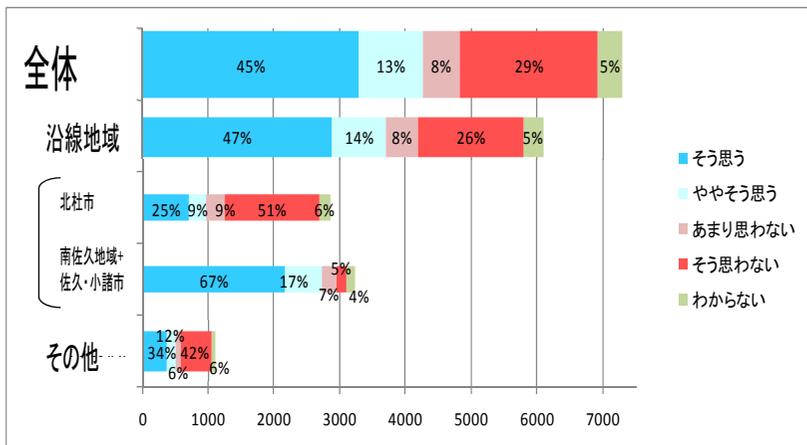
(3)課題を解決するための目標

問2-1 「提示した目標は、周辺地域が抱える課題を解決するための目標だと思いますか」 に対する回答 【全回答数 7,299件】

- 国提案の各課題に対し、全体の54～63%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答
- そのうち、沿線地域(6,089件)では、56～66%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答
(北杜市(2,853件)では、32～41%、また南佐久地域+佐久・小諸市(3,236件)でみると78～88%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答)
- 一方、その他地域(1,104件)では、42～51%が「そう思う」または「ややそう思う」と回答

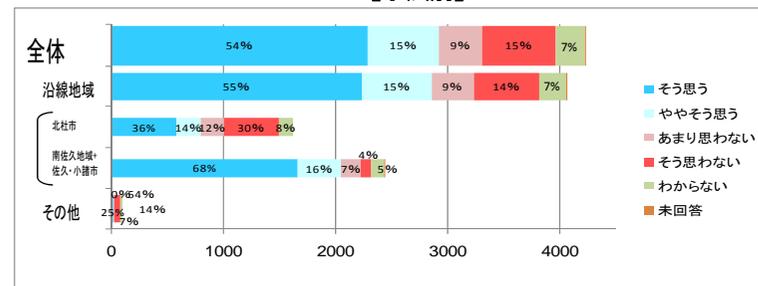
①【高速IC】 設問: 高速道路インターチェンジの時間短縮。

【手法別全体】

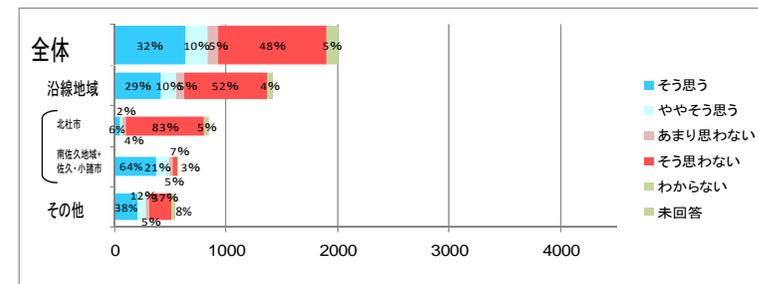


【沿線住民】

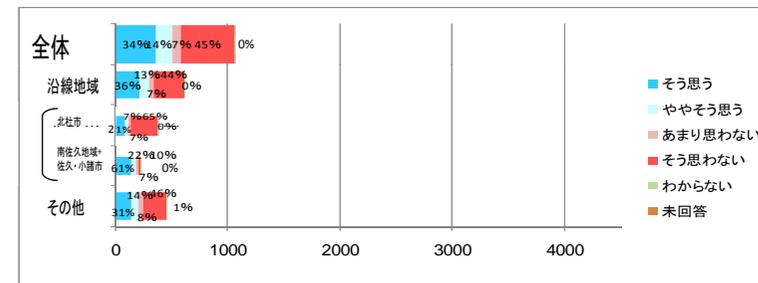
【手法別】



【道路利用者】



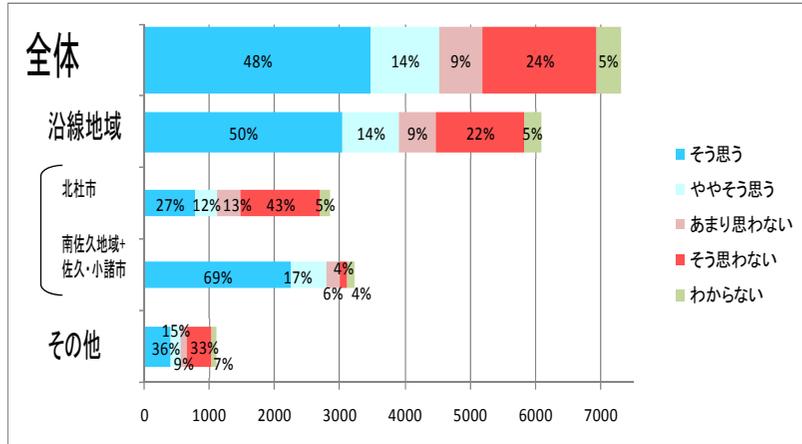
【WEB】



問2-1

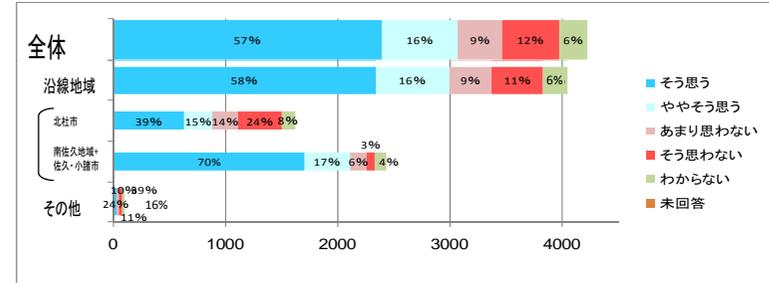
②【医療】 設問:救急医療施設への搬送時間の短縮。

【手法別全体】

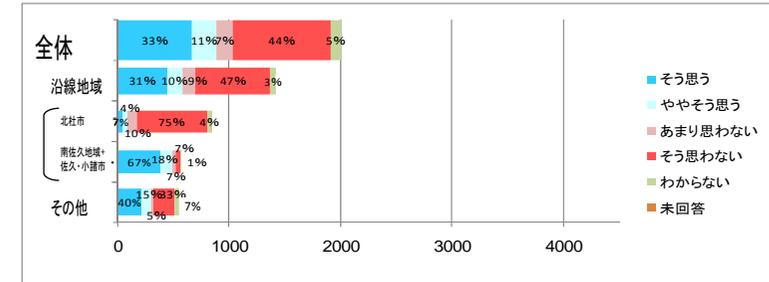


【沿線住民】

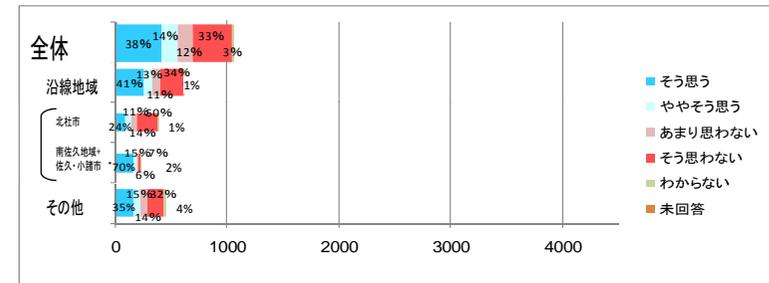
【手法別】



【道路利用者】



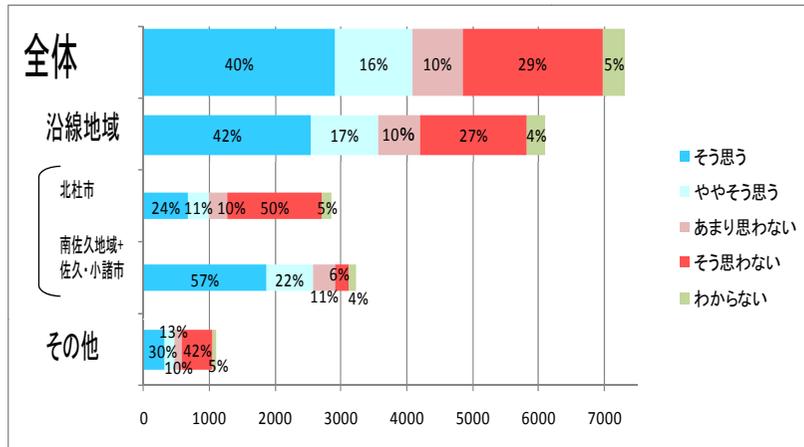
【WEB】



問2-1

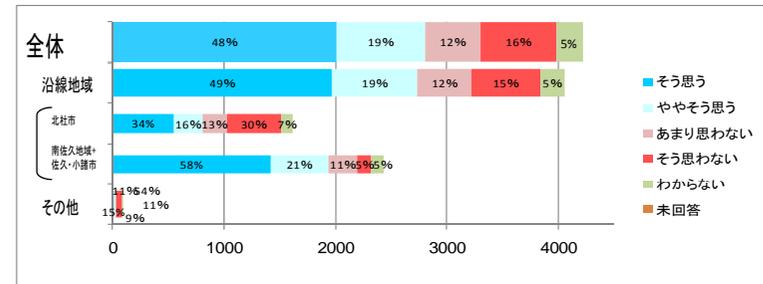
③【観光】設問:主要観光地間の移動時間短縮。

【手法別全体】

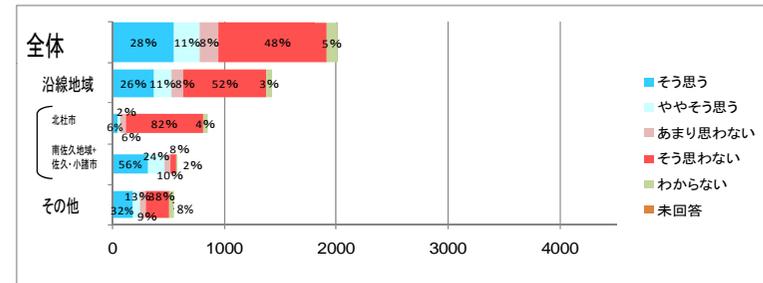


【沿線住民】

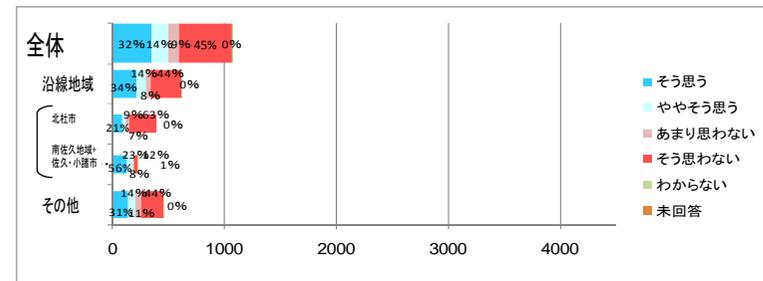
【手法別】



【道路利用者】



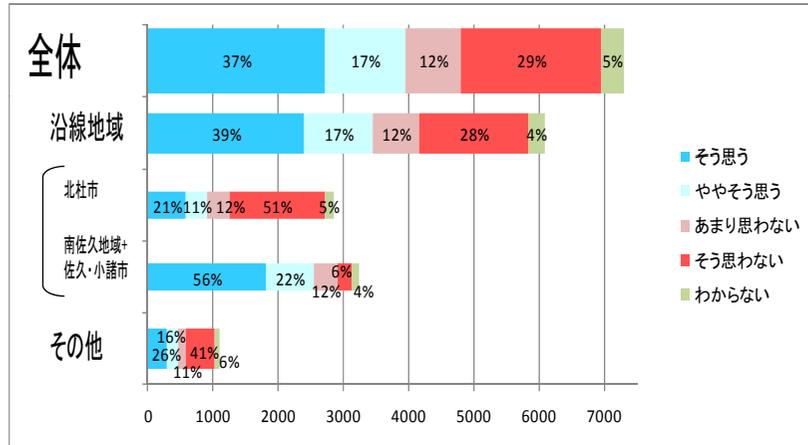
【WEB】



問2-1

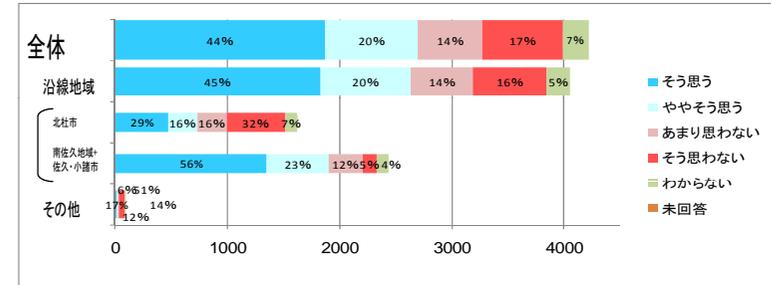
④【生活】設問：地域の生活交通の移動時間短縮。

【手法別全体】

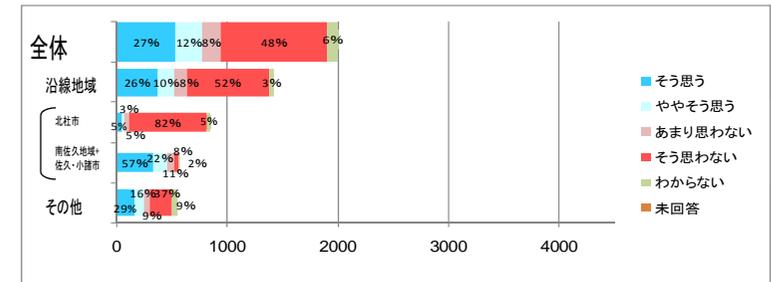


【沿線住民】

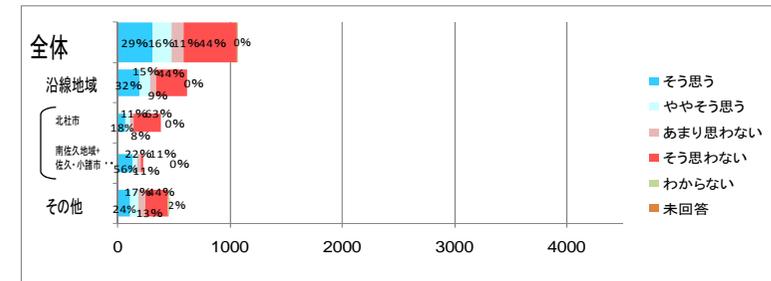
【手法別】



【道路利用者】



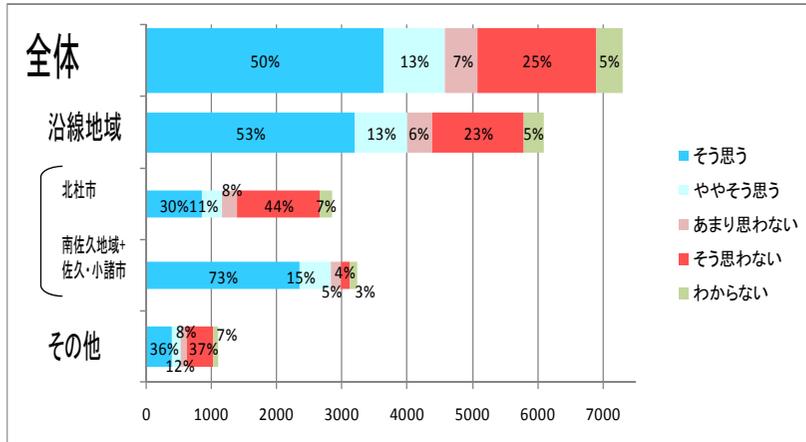
【WEB】



問2-1

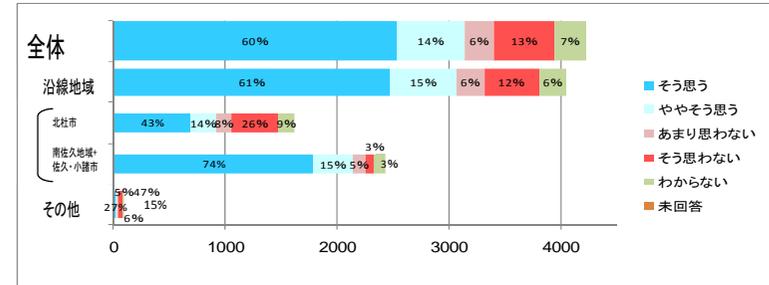
⑤【代替路】 設問:災害による道路通行止め時の代替路確保。

【手法別全体】

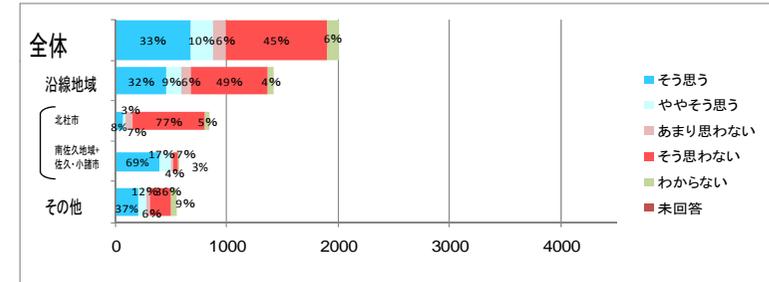


【沿線住民】

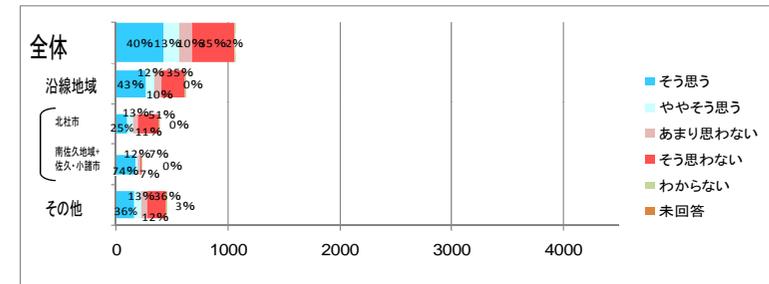
【手法別】



【道路利用者】



【WEB】



問2-2 「他に考えられる目標」 に対する回答(自由回答)

【回答:1, 170件】

【主な意見】

主な意見の内容		分類	主な意見の内容
より安全な一般道とする。		道路整備内容	国道141号の整備。(拡幅、歩道等)
若者の働ける会社の誘致。			周辺の自然環境破壊しないように配慮する。
公共交通機関の充実。			地域の風景との共存を重点的に考えてほしい。
分類	主な意見の内容		何処かにサービスエリアを設けて、景観をゆっくり楽しめるように。
道路整備への期待	一日も早期に完成する事、希望します。		各インターチェンジを町村毎に設けて欲しい。
	早期に道路整備を行う事で、地域活性化を図る。		ICに行くまでの道路の整備を考えて下さい。
	地域経済の拡大や立地条件格差の縮小化(生活環境・温暖化の減少等)に貢献する。		現在、国道141号線以外の迂回道路が無いので、バイパス等を整備してほしい。
	首都圏で大災害が発生した場合、高速道路の迂回路となり、物流支援となる。	早期4車線化。(救急車両がスムーズに移動できない)	
	過去に国道141号が災害時に通行止めとなり、救急車両の運行に大変であった。早期代替必要。	2車線で十分だと思います。	
	141号の交通集中緩和により、周辺住民の騒音被害が減少する。	道路以外の施設等の整備	ドクターヘリや医療施設の増設。
道路整備への懸念	道路は現在のままで十分である。	道路整備の進め方	無料道路の整備。
	この地域の一番の財産は景観であるので、道路を造ることで課題を解決してはいけないと思います。		東北関東大地震の復興が先です。
	自動車道による、生活道路への影響(騒音・事故)が心配です。		きちんとした公聴会など開くべき。
	最大限景観を保持して、将来の観光資源とする。	「産業」「医療」「観光」「生活」「道路」に関する意見	他の道路への影響を考えて、周辺地域が活性化するように努力する。
	観光では、今より更に北杜市観光は通過点になるとされる。		災害時にそなえた道路整備。
	中部横断自動車道は必要ないと思います。		地域の特産品の販売ルートが拡大できる。
	そういった事が課題だと思わないので、目標だと思わない。		
	地域間交流の高速道路間の接続。アクセス方法が多くなり利便性が向上となる。		
	通勤時間の短縮。		
	道路交通網の広がりにより、利便性向上による発展、過疎化回避。		
	救急患者の搬送短縮が優先されることを第一に考えて早急に着手すべきと考えます。		
	その他	農家への生活保障。社会保障の充実。	

※回答で述べられた1,170件の意見を細分化し同類の内容ごとに分類

(4)他に考えられる対策案

問3 「提示した対策案の他に考えられる対策案」 に対する回答(自由回答)

【回答:1, 947件】

【主な意見】

主な意見の内容		分類	主な意見の内容
在来道路の拡幅整備や改良、住民密着型の道路整備を願いたい。		道路以外の施設等の整備	ドクターヘリ、病院の充実が先決。
国道141号線のバイパス整備により、走行性・安全性を向上し時間短縮を図る。			公共の交通機関の充実。
			農業・農村の振興や活性化対策が急務。
分類	主な意見の内容	道路整備の進め方	住民の声をよく聞くべきです。
道路整備への期待	これからの事業はスピード感が重要であり必要ある。早急の対応よろしく申し上げます。 他地区との連絡交流促進。 新たな雇用対策。周辺地区の活性化も期待できる。		この道路に費やすお金を、東北の復興資金に充てて下さい。
道路整備への懸念	地域には貴重な自然もあり、その破壊も心配です。	案1、案2について	出来るものなら高規格で整備してもらいたい。(1案)
	八ヶ岳の景観、自然を大切に守っていく。		2案の様に、現存する資源を有効活用する方法が良い。
	中部横断自動車道は不要。建設反対。		(2)案で建設コストを可能な限り削減する必要があります。
道路整備内容	自然にやさしい方法を考えて頂きたいと思います。		旧清里有料道路を利用するのは安全性に問題があり不安。
	どうしても建設するならば、景観を考慮し極力南側を通すべき。		旧清里道路の活用で無料区間が有料になるのは問題解決の一つ。活用は賛成、有料化は反対。
	休憩時間がしっかり取れる場所づくりにも力を入れる必要がある。		141号線の問題箇所だけ手当する案は当然検討されていると思うので、1案・2案と比較できる様にして欲しい。
	中央道とのJCTを須玉IC付近に東へずらし、東京・静岡方面へのアクセスを向上させる。	その他	電気自動車等のエコ車の普及。
	高速道から一般道へのアクセスを、ICを増やしてスムーズにしてほしい。	※回答で述べられた1,947件の意見を細分化し同類の内容ごとに分類	
	ルート変更。		
	トンネルを大いに使ってもらいたい。		
	全区間、冬期対策として新たに道路整備してほしい。		
	全区間を4車線にする。4車線にしないと渋滞、事故の発生、救急搬送時に支障が出る。		
	片側1車線でも良いと思う。今ある道路も整備し、新しい道路は最小限で良い。		
北社市から甲府市へ行く高速を、無料にして下さい。生活圏が広がるので便利になります。			

(5)期待すること、懸念すること

問4 「中部横断自動車道へ期待すること、懸念すること」に対する回答(自由回答)

【回答:6, 919件】

【主な意見】

分類	主な意見の内容	分類	主な意見の内容
道路整備への期待	早期完成を期待しています。	道路整備内容	従来ある道路の整備・充実を望む。
	隣接する静岡県とのアクセスが向上するので、観光や農業の連携が可能になってくるのではないかと。		自然景観には十分配慮した設計を望む。
	交通事故の減少。		美しい景観を破壊しないよう配慮してほしい。
	何より地域内の交流・活動が促進され、時間格差・経済格差が解消される期待があります。		休んだり景色を楽しめる場所をつくってもらいたいです。
	災害による代替路確保等に、本当に期待しております。		生活道路の発想もあるので、出来るだけICを増やして欲しい。
	輸送の効率化と沿線地域の活性化。		高速で走行出来る道路の建設を望みます。
	観光地が近くなるので良い。		ICチェンジ付近の観光、商業対策。
	広域範囲が近くなる。生活のスピード化。		必要な所だけを高速とし、改良工事で流れが確保できる所は改修で。
	多様な整備効果に大いに期待する。		トンネルを確保してほしい。
	救急車の搬送時間の短絡。		4車線化をすべきである。
	東京で地震、災害等が発生時の環状線として、東京を迂回道路になる。		ルートの変更。
	交通渋滞の緩和に期待したい。		通行料金無料。
	CO2削減につながる。		旧清里有料道路は傾斜が急で、高速道路としての安全性に疑問がある。
	道路整備への懸念		費用対効果をきちんと考えて建設して欲しい。
森林伐採による環境の変化が心配。		その他	説明をきちんと欲しい。
自然の景観が大幅に失われる。			居眠り防止策の道路形態も考慮されたい。
騒音について懸念しています。		※回答で述べられた6,919件の意見を細分化し同類の内容ごとに分類	
高速道路のため、冬の事故が心配。			
観光客などに素通りされ、衰退する地域が多数出る。			
従来国道沿いの商業の衰退。			
道路整備により地元商業の過疎化、一部地域への集客が心配。			
当該地の人口減からも、高速道の維持費負担が心配。			
地域公共交通に対する影響に懸念。			
交通の便が良くなる事により、犯罪が増える。			
既存道路の整備・管理が疎かになることが危惧される。			
高速道路は不要です。			

②地元自治体・経済界等

1, 実施期間

平成23年2月17日～平成23年3月25日 約1ヶ月間(37日間)

平成23年9月 7日～平成23年9月26日 約3週間 (20日間) 【追加】

2, 内容(自由回答)

問1 周辺地域の課題について

問2 課題を解決するための目標について

問3 対策案の妥当性・他に考えられる対策案・中部横断によるメリットや変化について

問4 中部横断を見込んだ計画や構想・中部横断に期待すること懸念することについて

3, 対象者と回収件数

対 象 者		配布 箇所数	回収 件数	
地元自治体	北杜市・小諸市・佐久市・小海町・川上村・南牧村・南相木村・北相木村・佐久穂町	9市町村		
経済界 等	物流業	トラック協会・共同組合、JA、商工会、工業会社、運輸会社	34箇所	26箇所
	観光業	観光協会、観光・バス会社、宿泊・観光施設	22箇所	15箇所
	医療機関	消防、保健所、病院	10箇所	6箇所
	サービス業等	ショッピングセンター、教育委員会、みちの会、婦人会	9箇所	8箇所
	公共交通機関	鉄道事業者、バス事業者	7箇所	7箇所
	【追加団体】	環境団体、景観団体、まちづくり団体	9箇所	8箇所
合 計		100箇所	79箇所	

配布と回答方法

配布方法 : 各対象者への事前連絡後に文書を郵送

回収方法 : 返信用封筒(文章)による郵送

4(1) 第1回意見聴取結果(地元自治体)

自治体名	周辺地域の課題	課題を解決するための目標	課題を解決するための対策案	その他
北杜市	<ul style="list-style-type: none"> 産業物流面:現在は、東京、名古屋、長野方面への、広域的物流の効率化と産業基盤の確立に必要な、東西への高速ネットワークである中央自動車道があるわけですが、農業生産物は現在の保存技術が格段に改良しない限り、消費地までの速達性が求められ、また工業製品の輸出に対しては、空港や港までの時間、コストなどの縮減が必要であるため、速達性に課題があると考えます。 観光面:北杜市は東京都心から約2時間で連絡している。観光施設と自然を生かし、観光資源を融合させ、遊ぶ、見る、癒しを兼ね備えた、長期滞在型保養地であり、全国でも有数の美しい自然景観を有する観光リゾート地域でもあります。都市圏から日帰り、宿泊どちらでも可能である強みがあります。課題としては、現在の訪れている観光客のニーズは保ちながら、時代のニーズに合った観光客の誘致を考えていかなければならない。このため新たな県内外、外国人観光客を誘致できるよう観光コース等を考えていこうとすると、課題は移動時間がかかることなので、主要な観光地間の連携に課題があると考えます。 雇用機会面:企業誘致を行い、産業人口の増加や、地元市民の雇用機会を増やし、人口の流失に歯止めを掛けていかなければならない。現在は市外への通勤をしている市民も多く、勤務地まで時間がかかり、転出又は市内の中で転居が増加し、結果過疎化が進んでいる地域があり、日常生活の移動性に課題があると考えます。 救急医療面:医療に際しては、市内2つの病院を有しているが、高度医療を受けられる病院は、甲府市にあり距離、時間を考えると速達性に課題がある。また市内医療も地域によっては速達性に課題があると考えます。 	<ul style="list-style-type: none"> 産業物流面:高速道路へのアクセスをよくする事は、生産現場から高速道路までの時間を短縮し、トラック等の輸送に関する、燃料効率をよくしコスト削減することができることから、移動時間を短縮することが必要である。 観光面:市内はもとより、県境付近の観光地と連携をはかり広域的な観光周遊ルートを確立することにより、新たな観光コースを確立し、新規観光客の開拓、また新潟空港、静岡空港等の利便性を活かすためにも、主要観光地の連携と移動時間の短縮をすることが必要である。 日常生活面:移動時間が短縮されれば、日常生活、通勤などの不便が解消され、雇用機会の選択も増加するため、日常生活の移動性を短縮する必要がある。 救急医療面:特にこのルートは、山間地でもあり、防災ヘリは天候により運行できない可能性があります。このような場合、防災ヘリ運行可能な場所まで救急車で患者を運び、救急医療施設までの患者搬送時間を短縮する必要があります。 災害時の代替路の確保:市は東海地震に係る地震防災対策強化地域に指定されている、また中央道の長野県境付近の市町村は強化地域に指定されているが、この長坂～八千穂ルートの長野県側は強化地域に指定されていない、この為大規模地震が発生した場合、唯一緊急物資の輸送路となる。このため災害時の交通機能の確保により迅速な復旧と支援物資を届けることが可能である。このことから市民の安全と安心を確保するため代替路を確保する必要がある。 	<p>環境や景観への負荷等を低減するために、旧清里有料道路を利用していくことが望ましいと考える。</p>	<p>貴重な動植物の生息地であり、景観に優れたエリアでもあるため、十分な環境アセスメントを実施していただくと共に、景観にも配慮していただき事業を進めていただきたい。結果自然環境に配慮し、景観と融合するような、高速道路建設の新しいモデルとなるようお願いしたい。</p>
小諸市	<p>本アンケートの対象区間である八千穂IC～長坂JCTは、急カーブや急坂が連続しているため、下記の課題が考えられると思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 地域の生産品の自動車輸送に時間がかかる。 ② 救急医療施設への救急車搬送に時間がかかる。 ③ 国道141号の走行性・安全性が不足している。 	<p>周辺地域の課題を解決するために、下記の目標が必要であると思います。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 高速道路インターチェンジの時間短縮 ② 救急医療施設への搬送時間の短縮 ③ 災害による道路通行止め時の代替路確保 	<p>提示された比較案が適当だと思います。</p>	

※全文掲載

4(1) 第1回意見聴取結果(地元自治体)

自治体名	周辺地域の課題	課題を解決するための目標	課題を解決するための対策案	その他
佐久市	<ul style="list-style-type: none"> 産業:佐久地域の特産品(野菜、果樹、花卉等)を、荷痛みの少ない新鮮な状態で出荷するには、急勾配や急カーブが多く輸送にかなりの時間を費やしている。 医療:第3次救急医療施設である佐久総合病院までの搬送時間が、全国平均を大幅に上回っていて(最大で70分)、地域住民は不安を抱えている。 観光:沿線周辺には観光名所が多数あるが、小淵沢から軽井沢までの移動に時間がかかるなど連携が図られていない。 生活:大型店の多い佐久市内までの移動に時間がかかっている。 道路:南佐久地域で唯一の幹線道路である国道141号には、急傾斜地崩壊危険箇所が点在していて、災害時の代替路線がない。 	<ul style="list-style-type: none"> 高速IC:移動時間を短縮することで、新たな人、モノの流れを加速させ、観光、産業、医療など全ての面において可能性を一層高める。 医療:第3次救急医療施設からの30分カバー圏を拡大することで、救急医療体制を大きく改善する。 観光:沿線観光地を短時間で結ぶ広域観光ルートを形成することで、観光立国に貢献し更なる交流人口を創出する。 生活:日常生活の利便性を向上させることで地域経済の活性化を図る。 代替路:地震や集中豪雨などによる災害発生時の、代替道路や緊急輸送道路を確保し災害に強いネットワークを構築する。 	<p>全区間4車線での整備が望ましいが、現道を活用することで一日も早く開通させることも重要な要素である。</p>	<p>佐久地域の更なる飛躍のため、佐久南ICから(仮称)八千穂IC間の整備促進と、(仮称)八千穂ICから(仮称)長坂JCT間の、一日も早い整備計画区間への格上げを強く要望する。</p> <p>3月11日、東日本大震災の発生は、日本人の意識を変える大きなショックとなった。</p> <p>様々な方面に影響を与える事となると思われるが、電力需要を抑制していこうとする方向に日本は向かうべきであり、そういった気運の高まりも考えられる。</p> <p>地球温暖化の影響も考える中で、標高の高い佐久地域(佐久市・小諸市:約700m、軽井沢:950m、南牧村野辺山:1350m)での滞在を推進すべきである。</p> <p>退職後の居住や夏場の最も電力需要が高まる時期に長期滞在するなどの提案や施策展開を地域全体で取り組んでいく上で、交通アクセスが充実していく事は、地域の活性化であり国益とも言える。</p> <p>また、東京への一極集中への懸念が声高に指摘されるようになっているが、天災のない佐久地域において政府機能の一部移転を考える時、東海地域他とのアクセスが極めて重要になる。</p> <p>中部横断自動車道の整備が、政府のセーフティネットの可能性も広げることになる。</p>
小海町	<ul style="list-style-type: none"> 南佐久郡と山梨県を結ぶ幹線道路は、国道141号のみであり、災害等に見舞われた場合には、代替道路はなく、迅速かつ確実な安全確保が不可能である。また、救急救命に、医療施設までの時間がかかってしまう。速達性が求められている。 佐久地域は、高原野菜の一大産地であり、新鮮な野菜を消費地まで早く確実に届けるためには、急峻な国道のみでは課題が多い。 南佐久地域は自然豊かな観光資源が豊富な地域であり、軽井沢と清里の中間に位置しているが、地域間の連携が不足している。観光客の移動を短縮することにより交流人口の増加につながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時の代替・緊急道路を確保し、生活圏の拡大と交通の円滑化を図る。 佐久総合病院医療機関センター等救急医療施設への患者搬送時間の短縮を図る。 新鮮な農産物(高原野菜等)をより早く安全に消費地に輸送することが実現できる。 観光資源を活かした観光の活性化には、観光人口の増加と広域的な地域間交流が図られる。 	<p>全区間で、新たに道路を整備する案が理想であるが、旧清里有料道路区間を利用することは、道路勾配と野生の動物横断に課題があるが、環境、建設費、工期の短縮の面からみて妥当と考える。しかし、将来の交通量、安全性を考慮し、十分な議論が必要と考える。</p>	<p>南佐久地域は急峻な地形であり、地域住民の安全と安心を守り、地域の発展には中部横断自動車道は絶対不可欠な道路であります。早期実現を強く望みます。</p>

※全文掲載

4(1) 第1回意見聴取結果(地元自治体)

自治体名	周辺地域の課題	課題を解決するための目標	課題を解決するための対策案	その他
川上村	この地域の最大の課題は、以下のような観点から国道141号の走行性・安全性が不足している点だと思う。この地域周辺は急峻な地形と狭隘な道路が非常に多く存在している。特に、国道141号南牧村の市場坂は、急勾配かつ急カーブの連続であり、また、日影地が多いため年間を通して事故の多い場所である。同じく南牧村の海尻のJRとの立体交差部は国道141号の中で最も幅員が狭く大型車のみならず普通車同士のすれ違いにも細心の注意が必要な箇所である。以上の状況から川上村周辺から最寄りの病院やICまでは(中央道、上信越道)ともに1時間以上の時間を要し、緊急医療施設への搬送時間がかかり、高原野菜の輸送についても時間がかかる結果となっていると思われる。	現状の国道141号の改良には、民家の移転、山の大掛かりな切り崩し等が予想される。また、この地域は国道141号が唯一の基幹道路なので、平成12年に発生した杣添洞門の路肩決壊による通行止めを想定した場合、すべての人的移動・物流に支障をきたしてしまう。上記の課題を解決するには国道141号の代替路線の設置が急務だと思われる。	基本的には現道(旧清里有料道路)を利用する方向で良いと考える。道路は繋がってこそ本来の価値を発揮するものである。現道を利用することによる事業費の削減により一日も早い完成を望む。事業費の削減のためには野辺山地区の農道の一部を利用しても良いのではないかと考える。ただし、安全性を考慮し上り坂(川上方面に向う側)を高速自動車道として利用すること。ただし現道をそのまま利用すると、車両の速度が著しく低下するため高速道路規格に反するような構造であってはならないし、現道は直角なカーブが点在するのでこの点は改良の余地があると思われる。	
南牧村	① 産業:主生産物野菜乳製品の輸送に時間がかかり、鮮度、販路が制限されてしまう。 ② 生活:通勤、通学、買い物が不便 ③ 医療:救急医療施設への搬送時間1時間、全国平均の2倍の時間を要す。 ④ 観光:主要道141号一本しかなく、交通の混雑解消と観光地間の連携を深める。 ⑤ 道路:規格古く、カーブ多く勾配急、交通事故多い。 ⑥ 災害:台風、地震、事故等で通行止めになると迂回路がなく陸の孤島となる。	① 高速IC:製品の輸送時間短縮で販路、商圏が拡大 ② 生活:通学、通勤圏拡大、人口流出抑制 ③ 医療:スピードかつ安全性が向上し救急救命率向上 ④ 観光:観光ネットワーク構築で地域の活性化に期待	自然環境への影響、経済性、工期の短縮等を考え、第2案が最良と考える。	・高速交通網の整備によって沿線の人々の生活が変わり、安心して暮らせるようになる。 ・優良農地や人家の影響を最小限に抑え、最小の犠牲で最大の効果が得られるようお願いしたい。
南相木村	幹線道路は国道141号だけで141号が災害等で通行止めになると迂回路がない。中部横断道の果たす役割は大きいものがある。ネットワークが確保されることで、大きい効果が得られる。	地方の発展は道路整備にあると考える。特に高速道路を利用しての移動は、スムーズで都会との時間的距離が短縮されて若者定住人口が増え、観光面で大きな効果が期待される。必要な道路は整備すべきである。	財政事情は厳しいかと思いますが、高規格で整備してもらいたい。既存道路活用は賛成できないが、どうしてもなら仕方ない。一日も早い着工をお願いしたい。	
北相木村	住民アンケートにも示されている産業～生活においては、それぞれが地域のかかえる重要課題だと思っている。「道」により地域が大きく発展するものと思うので是非共早期整備計画への移行を願うものである。	各分野における時間短縮、生活圏の拡充、万が一における代替路の確保等の目標をかかげる。	早期整備を図るという観点から暫定二車線旧清里有料道路利用案を支持するものである。	
佐久穂町	① 町内の農産物出荷施設から一番身近な中央自動車道ICまで1時間以上かかり、新鮮な高原野菜等の名古屋・大阪市場までの流通基盤が不安定、また、遠方の市場(中国・四国・九州)については、輸送の時間的な制約から出荷エリアが限られる。 ② 第三次医療施設の佐久総合病院までの救急車の搬送時間は、当町からは概ね30分圏内だが、小海町以南は1時間以上かかってしまい住民は、不安を抱えている。 ③ 南佐久地域内の移動時間が長いこと、広域的な観光連携、地域内の交流促進、連携強化、地域の一体性を図ることが難しい。 ④ 町内の企業・商店やレクリエーション施設等は規模が小さく、佐久市へ通務する人が多いが、日常の移動に長時間かかってしまう。 ⑤ 南佐久地域の幹線道路は、国道141号のみであり、災害や事故等により通行止めが発生した場合、生活道路が迂回路となるため、大型車は通行止めとなり、迂回ができなくなってしまう場所もある。	① 高速道路までの移動時間の短縮 ② 救急医療施設への移動時間短縮 ③ 主要な観光地間の移動時間短縮により南佐久地域の連携強化を図る ④ 交通が円滑化することで、生活圏が拡大し、地域が活性化 ⑤ 災害時の幹線道路確保 ⑥ 高速交通ネットワークの形成(ミッシングリンクの解消)	①全区間高規格幹線道路として整備。 ②暫定供用として旧清里有料道路(山梨県道28号線北杜ハケ岳公園線)を一部区間利用。	基本計画区間である(仮称)長坂JCT～(仮称)八千穂IC区間が整備計画区間に格上げされ、早期全線整備を要望します。

4(2) 第1回意見聴取結果(経済界等)

分類	周辺地域の課題	課題を解決するための目標	課題を解決するための対策案	その他
物流業	<ul style="list-style-type: none"> 提示された課題のとおりである 降雪時の除雪及び凍結時のスリップ等に関しては、限られた地域だけの課題では無いと思う。 国道141号線は、道幅が狭いところがあり、特に小海町付近は走行性・安全性に不安がある。 国道141号には急カーブ等々の区間が多く安全走行の確保に運転者が注意することの負担が重い。 夏場の高原野菜の出荷に於いて、実需者より求められているのは、畑から収穫した後、いかに早く実需者の工場、店舗へ納品するかだが、この地域には国道141号線しかなく、定時性、時間短縮ができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 我々業界にとっては、輸送時間の短縮となることが最大であり、周辺地域の方の考えに同意見 5つの課題解決目標とあわせて他の高速道の通行止め等の代替道路とが必要がある。 周辺地域の課題にとどまらず、雪害、事故の際に代替道路がなく、運行上支障がある。 他の高速道路と連絡して2ネットワーク化、地域間の結び付きの強化 	<ul style="list-style-type: none"> 提示された対策案は有効 高速道路に通じる幹線道路の整備も必要と思う(アクセス道路)。 長野県側の道路拡幅 国道141号の拡幅、バイパス、登坂車線の整備。 国道141号の拡幅等が考えられるが現実的に可能性はあるか 中央道へのアクセス整備 国道、県道、市道それぞれ必要に応じた修繕・整備 	<ul style="list-style-type: none"> 中部横断道が使用できれば、物流面でのメリットはもちろん観光面においてもかなりの地域活性化が期待できる。 中部横断自動車道が開通すれば、物流のみならず、静岡〜山梨〜長野間の観光地の相互往来が活発になり、経済効果もかなり高くなるので、早期整備を望む。 長野〜八千穂間は、特に自然豊かな地域でありまず、自然環境保護の最先端(最新)のモデル高速道路としていただきたいと期待します。 高速道路料金について在り方も含め再考願いたい。
観光業	<ul style="list-style-type: none"> 提示された課題のとおりである 主要ICを下車してから時間がかかりすぎる。 清里駅周辺がシャッター街化となっている。 観光地間の連携が悪く広域日帰り観光ができない。 軽井沢をはじめとする東信地方と周辺地域(当該エリア)との自動車による輸送に時間がかかり、それによる主要な観光地間の連携および、生活交通として機能することが難しくなっている。 緊急医療施設までの移動時間が長い 	<ul style="list-style-type: none"> 5つの目標が達成されれば大きな改善になる 企業としては、アクセス向上により、群馬、埼玉方面の新しいお客様を連れてもらえる様になる。 アクセスが良くなることで新しい商圏からの誘客により地域を活性化 主要観光地間の移動時間短縮やアクセス性の向上により、バス新路線の新設などの可能性が広がる、周辺地域の活性化にも寄与することが期待される。 主要観光地間の時間短縮に役立ちます。 	<ul style="list-style-type: none"> 提示された対策案は有効 高速道路の一番のメリットである時間の短縮ができなくなるという企業としての利益は少ないと思う。5つの課題を解決する目的であれば、現在の国道の改修等では難しいと思う。 国道141号をまず使いやすくする。例えば、コーナーを少なくする。拡張する等 国道141号県道の整備、拡幅、観光活性化策 高速道路にアクセスする周辺道路環境の整備。 	<ul style="list-style-type: none"> 清里エリアがスルーされる状態になると現状より観光客が減る可能性が高くなると思う。 アクセス性が向上することは、望ましいが、地域の抱える問題が解消されるとは考え難い。逆に、観光地としては、益々日帰り観光客が増え、区間内の国道隣接する商店等小売業は、通行車両の減少により、経営が悪化する恐れがある。 この地域は観光以上に農業が盛んなためトラックも多く国道では本当に危ないとも思うことがある。とにか1日でも早くお願いします。
医療機関	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送時間の短縮 夜間、休日等の専門医の充実 国道141号線は幅員が狭く、急な坂やカーブも多く走行性・安全性に欠ける。また迂回路も無い区域もあり不便であるとともに災害に対応できない。 救急の基幹病院が現在より遠方に転移する計画があり重篤な傷病者の搬送に不安がある。 管内の救急の指定病院に医師の確保等充実を望みたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送時間の短縮 防災ヘリ及びドクターヘリ連携拠点の強化 救急医療施設への搬送時間短縮は高速道路の建設と併せて国道141号線の拡幅・整備が必要と考えます。 管轄区域内の救急指定病院の充実(医師、看護師、技師の確保)を望みます。 お産についても、産婦人科を有する佐久総合病院等へのアクセスも容易になり、メリットにつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> 提示された対策案は有効 救急受入医療機関の整備 国道141号線の拡幅・修繕県道の整備と併せてドクターヘリの活用には周辺地域にヘリポートを数多く設置しドクターヘリと救急車の合流地点の増加を望みます。 ドクターヘリについては、昨年11月山梨県ドクターヘリ導入可能性検討委員会において、導入を推進すべきとの報告がなされており、県において現在検討が進められている。 搬送時間短縮のために高速交通網の整備は必要である。141号の2車線化等も有効であると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> トンネル、橋梁に関わる事故への対応。 狭い道路での車両通過。取付道路の整備及び緊急開口部の併設 救急搬送で基幹病院の移転が目前に迫っており搬送時間短縮のためにも早期の高速道路建設、国道141号線の整備を望みます。 搬送時間が長時間になる問題点は、搬送中の傷病者の不利益になることはもちろんのこと、管轄内の救急隊が不在となることも大きな問題である。長距離搬送で有効であるドクターヘリも、救急隊が現場にいて運用されるものであるため、救急隊が不在である時は、実質運用は不可能である。
サービス業	<ul style="list-style-type: none"> 中山間部の為坂が多く道幅が狭い上、カーブが多いが、特に降雪時、凍結時の路面安全対策が寒冷地として不十分 国道141号は豪雨時の通行止め規制などの区間があり、安全性や走行性に課題があります。したがって救急病院への搬送とか日常生活の移動など不便をします。 高齢、一人暮らしなどで車もなく買い物に行けない買い物弱者の支援も必要。道、地域を通して市町村など連携も必要だと思います。 生鮮野菜、牛乳など運搬に時間がかかり傷みやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 5つの目標はあてはまる 生活道路の大型車排除 通行止め時の代替路線の確保。 道路走行性・安全性の向上 広域観光地間の移動時間の短縮。 3月11日の関東・東北大震災で道路が開ざされ、物流がこんなに困難であることを思い知らされました。自然の災害は人が思う以上のものです。その備えのためにも高速道路の大切さが分かります。 	<ul style="list-style-type: none"> 提示された対策案は有効 R141の拡幅、バイパス道の整備 県道の整備、歩道の拡幅、信号機をつける(人の横断が多い所)横断歩道をつける。 佐久地方は冬季に凍結するため道路の傷みが多く、危険が部分の修復が必要です。 	<ul style="list-style-type: none"> この度の大地震のような災害でも破壊されない頑丈な道路を作って欲しい。 途中で風景を楽しめるようなスポットがあれば新鮮な空気を吸って英気も養われます。 女性が安心して走れる道路。 20K走れば休める様な場所(店はなくてよい)の確保。
公共交通機関	<ul style="list-style-type: none"> 5つの課題については、同意見である。 救急病院への救急搬送に時間がかかる。国道141号の走行性、安全性不足 道路整備に依り移動時間の短縮を計り観光地間の連携向上と生活交通の円滑化を計る事が急務 買い物、通学などの日常生活の面で不便な点が課題です。 その他に鉄道やバスなどの公共交通機関利用せずに自家用車に依存していることが、公共交通の廃止を助長することになる。 	<ul style="list-style-type: none"> 5つの「課題を解決するための目標」をぜひ、実現してほしいと思います。 地域の活性化と定住促進を主に目標に向かって取り組む必要があります。 交通の便が良くなり、物流も活発になるのはいいことと考えられます。バス運行の関係からは、その他目標は特にありません。 利用客が減少することにより、鉄道等は公共交通としての役割が無くなり、廃止を迫られることになる。地域との連携、役割分担をさらに検討すべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 提示された対策案は有効 国道141号拡幅、歩道も含め安全対策も急務です。 道路の問題よりは、福祉部門との連携が必要だと思います。 国道の整備も必要である。 佐久穂町からの国道141号線の整備、拡幅 高速道路の整備とともにアクセスする地域の基幹道路整備は重要であると思われる。 国道の拡幅、修繕。 	<ul style="list-style-type: none"> 中部横断自動車道ができることは、地域にとって明るいニュースだと思いますが、その反面、この地域がただの通過点になってしまう、観光客などが減少することがなければと思います。 利便性の向上が期待される反面、郊外への流出が危惧されるかと思われる。魅力ある住みやすい地域を目指す必要があるかと思われる。 高齢者も多いため、ICは身近な場所をお願いしたいと思っています。 一般道周辺の小売業者への影響、インターのない(距離がある)地域では、何の利益も生まれれないという問題も深刻である。

※寄せられた意見のうち各分類に主に関連する意見を掲載

4(2) 第1回意見聴取結果(経済界等)

分類	周辺地域の課題	課題を解決するための目標	課題を解決するための対策案	その他
追加団体	<ul style="list-style-type: none"> ・当然、この5つの課題は、佐久地域以南が抱えるものである。 ・早期に解決する必要がある(若者の流出をいとめる事が大事)。 ・主要な観光地間の連携が不足している。県内有数の観光地である軽井沢、野辺山、清里高原の中間に位置しながらも主要道路141号でのアクセスでは不十分で、八千穂高原への集客は芳しくない。 ・野辺山の乗りと下りはカーブの多い道路であるため、走行上危険をとめない、特に積雪時と凍結は危険。 ・アンケートに示されている課題は、まさしくこの地域の課題である。 ・国道141号の状況についても、特に冬などは雪で幅員が狭くなる場所もあり、大型車などの通行が困難。 ・国道141号も以外に川上村へ通ずる県道があるが、災害などがあると陸の孤島になってしまう。 ・川上村への移動に時間がかかる。 ・生活面で、佐久のショッピングセンターまで1時間半くらいかかっている。 ・国道141号の迂回路として重要。 ・救急病院への救急搬送の時間。 ・観光地(野辺山高原)のインターが期待される。 ・中部横断自動車道の建設が、八ヶ岳山麓の北州市高原地域や南佐久地域に残されている豊かな自然といかに共存していくかが大変重要。 ・八ヶ岳の景観と自然の喪失 ・観光地としての地盤沈下 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標が達成されれば、確実に生活環境は向上する。 ・広域観光地間の移動時間の短縮。佐久町IC、八千穂ICから長坂までの高速道が開けることで、アクセスは向上し、集客の期待ができる。 ・自然条件が厳しいため、走行時の安全性向上が目標。 ・インターチェンジの開設により、商原野菜の自動車輸送の時間短縮、農業と観光の連携に多いに期待できる。 ・5つの「課題を解決するための目標」は、周辺地域が課題を解決するための目標であると思われる。 ・5つの「課題を解決するための目標」の達成と「豊かな自然との共存」が両立すれば、この地域は、観光及び滞在先進地のすばらしい模範となる可能性があると考える。 ・国道141号の改良。 ・ドクターヘリの整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ・八千穂IC以南の早急な開通に合わせ、299号や周辺県道の整備。特に余地峠の通行獲得を望む。 ・中部横断道はこの地域に必要であり、期待している。早期に整備してほしい。 ・既存国道・県道等の整備。 ・公共地域交通の整備。 ・ドクターヘリの整備。 ・独立した遊歩道の整備。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自動車道の整備には、広い土地が、地形を変える事になる。自然環境への配慮を充分にして頂きたい。小動物や虫、鳥、植物等の十分な調査をしたうえで破壊しないようにお願いしたい。 ・現在、整備が進められている八千穂ICまでの工事が1日も早く順調に進むことを期待し、合わせて、八千穂以南の整備計画ができることを望む。 ・長野東信と静岡東部との交流、物流、商観業等の効果は大きなものがあり、早期開通を願う。 ・(観光等の)冬期の収支計算上の赤字が心配。 ・観光地間の連携も移動時間が短くなれば、他の地域からも来やすくなるのではないかと。ただ、周辺地域に降りず通過してしまう心配はある。 ・中部横断自動車道の開通に伴い、八ヶ岳、千曲川の地域活性化が期待できる。 ・森林環境と高原景観保全をきちんと行う道路開発ルート及び工法であること。 ・生物多様性を保全するとともに動物の移動に配慮した高速道路の開発であること。 ・高速道路に関わる費用対効果の検証が必要。 ・産業政策、インフラ政策、福祉厚生政策等、その他の施策との比較による優先順位の比較が必要 ・市民への計画案、進捗状況の丁寧な説明と意見聴取 ・高度成長時代に策定された高速道路計画の見直し ・八ヶ岳山麓に高速道路は不要 ・観光や不動産業、建設業の衰退による北州市の地盤沈下 ・生態系などの環境への影響の懸念 ・北州市のまちづくり計画との整合の必要性

※ 寄せられた意見のうち各分類に主に関連する意見を掲載